

運営推進会議記録

開催 日時	平成29年3月27日(月) 14時00分～15時45分	場 所	社会福祉法人 洗心会 本部会議室
参加事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・サンフラワーケアセンター（小規模多機能型居宅介護） ・サンフラワーグループホーム（認知症対応型共同生活介護） ・サンフラワーグリーンホーム（地域密着型介護老人福祉施設） 		
参加者	<p>○グリーンホーム 施設長 木下（議長）、計画作成担当者 古賀（悠） ○ケアセンター・グループホーム 管理者 佐藤（書記）、介護支援専門員 菊田</p> <p>○小山市高齢生きがい課 菅原様 ○高齢者サポートセンター桑絹 春田様 ○上出井さわやか会（桑絹老人会）会長 岸本様 ※民生委員 大島様は都合により欠席</p> <p>○グリーンホーム利用者 大蔵様、入居者家族 塩澤様 ○ケアセンター利用者家族 井澤様 ○グループホーム入居者 中田様 ※ケアセンター利用者 松嶋様、グループホーム入居者家族 濱様は都合により欠席</p>		
<p>活動内容及び回数等 ※別紙 運営推進会議資料参照</p> <p>1. 開会あいさつ 古賀）ただ今より、平成29年度第7回運営推進会議を始めます。</p> <p>2. 管理者あいさつ 木下）本日はお忙しい中、また足元の悪い中ご参加いただき誠にありがとうございます。平成28年度も残りあとわずかとなりました。3月に理事会が開催され各部署における事業計画が承認されました。それなので、その事業計画に沿って事業運営していくこととなります。事業計画の概要等につきましては、協議事項の中で説明させていただきたいと思います。 また、3月14日には地域密着型サービスのグリーンホームを対象とした、小山市による実地指導を行っていただきました。その中でご指導いただきました点もごございますので、しっかりと改善を図り、利用者様に支障が出ないよう進めていきたいと思っております。地域密着型サービスのさらなる質の高いサービスを提供していく為には、ご出席していただいている委員の皆様のお力添えが不可欠ですので、次年度におきましてもご指導ご鞭撻をお願いいたします。</p> <p>3. 協議 1) 各施設・事業所からの活動内容報告及び評価・助言等 ・サンフラワーケアセンターの活動内容報告及び評価・助言等 佐藤）ケアセンター運営推進会議資料読み上げにて説明 御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。 佐藤）補足として、3/27現在登録者数19名で、4/3に新規1名予定で登録者数20名となる見込みです。 参加者より、特に御意見・御質問なし。</p>			

・サンフラワーグループホームの活動内容報告及び評価・助言等

菊田) グループホーム運営推進会議資料読み上げにて説明

御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

参加者より、特に御意見・御質問なし。

・サンフラワーグリーンホームの活動内容報告及び評価・助言等

木下) グリーンホーム運営推進会議資料読み上げにて説明

御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。

菅原) 事故内容の2番目で、利用者の怪我による出血があったようですが。

木下) この方は、足に皮下出血がみられていて、足に血栓が詰まってしまった事があって、血腫が進んでしまっている状況があります。1年前ぐらいの事でそこから徐々に改善はされてきてはいました。それを考えると、内面的なものでどこかにぶつけたという事ではないような状況でした。

2) 平成29年度事業計画概要書についての説明

・サンフラワーケアセンター

佐藤) 事業計画概要書読み上げにて説明

その人らしい暮らしの実現に近づける支援をしていくという所で、1つ目としては通いの場を中心とした生きがい作りや心身の健康維持向上、2つ目に自宅や地域での関係作り、この2つの視点に関する内容を重点目標として進めていきます。

重点目標としては、1～9まであり、特に1の個別の生きがい作りの提供で、利用者のニーズを把握の上、今まで行っていない多様な活動と継続的な地域交流を取り入れて、提供することで新たな生きがいと人間関係に繋がるよう支援していく。主な内容としては、趣味活動の提供、園芸で個別又は集団活動、地域交流として季節行事やおやつレクリエーションなどを行い、地域の方を招待した定期的な交流ということでこれらを中心に行っていくということで予定をしております。

・サンフラワーグループホーム

佐藤) 事業計画概要書読み上げにて説明

平成29年度で3年目を迎える所で、家庭的な雰囲気を中心身機能等が比較的安定している状況です。入居率の安定にも繋がってきますので、出来る限り安心して落ち着いた日常生活が送れるように支援していく為に、入居者が主体となって役割を担って日常生活における活動を継続的にやるように支援するという事を主体として進めていきます。

重点目標としては、1～8まであり、特に家庭的な食事を楽しむことのできる仕組み作りという事で、今まではサンフラワーガーデンの厨房で食事を作ったものをケアセンターに運んでいただき、それを入居者と職員でグループホームに運び、お皿に盛り付け等を行っていました。今年度途中から味噌汁作りを始めまして、段階的に入居者の方々と作るものを増やしたりと考えている状況です。それも、食事での調理作業を段階的に増やしていく方向です。また、入居者と職員で献立を話し合っただけでなく、調理の実施ということで進めていきます。給食委託から、最終的には食材仕入れ、買い物だったり、食材宅配を活用したりしながら調理していくという所の移行検討して次年度に向けていく予定をしております。

・サンフラワーグリーンホーム

古賀) 事業計画概要書読み上げにて説明

地域密着型の特別養護老人ホームとして、地域や家庭との結びつきを重視しながら質の高いケア提供が出来るよう、また生活の安全その他を確保出来るように努めていかなければならないという事と、ショートステイについては、平均利用率が低下してきているので、利用稼働率アップを目指していくとしています。

重点目標としては、1～10まであり、特に個別ケアの充実という事で、個別ケアの中で入居者を対象とした根拠に基づいた排泄ケアを行う。ショートステイの利用者については、個々のニーズに合わせた食事の提供を行うという事で、排泄と食事に重点を置いて進めていきます。

岸本) このケータリングというのはどういう意味なんですか。

古賀) ケータリングというよりは、出前を頼んで提供するというようなイメージで検討しております。

3) サンフラワーケアセンターのサービス評価の公表

佐藤) サービス評価資料読み上げにて説明

12月に委員の方々にお集まりいただき、運営推進会議を活用した外部評価を行いました。その後、話し合いの結果をもとに改善計画を立てさせていただきました。何かこの点でご意見ご質問等がございましたらお願いいたします。

菅原) 長時間でかなりご苦労されていましたが、こうやって形になってお互いにとても有意義な機会になったかと思えます。

佐藤) サービス評価については、異議等なければこの内容で決定として公表を進めていきたいと思いますがよろしいでしょうか。→参加者全員異議なし。

それでは小山市への提出も進めていきたいと思えます。

4) サンフラワーグループホームの外部評価の公表

佐藤) 外部評価資料読み上げにて説明

グループホームにつきましては、外部の調査機関に依頼し、訪問調査をしていただいています。その調査の中で、次のステップへ向けて期待したい内容という事で2点改善計画をあげています。

1つは身体拘束について、もう1つは食事を楽しむ事の出来る支援を改善していく方向で計画しております。

11月10日に訪問調査していただき、3月に実施報告書が届きましたので、3月23日に小山市へ提出してあります。

岸本) グループホームには厨房施設があるんですか。

佐藤) オープンキッチンがあって、そこで調理出来るようになっています。

塩澤) この調査は毎年行うんですか。

佐藤) そうですね。年1回行います。

5) 地域福祉推進の為の情報提供

○小山市高齢生きがい課

菅原) インフルエンザがまだ流行っている状況があり、今年は季節外れで施設でも集団発生して入居者も職員もかかってしまったというような所もあるようです。うちの職場でもかかっている職員が

いるような状況です。間々田方面の学校でも流行が見られています。皆さんにおいても気を付けていただきたいと思います。

先週の金曜日に、地域密着型サービスの事業所にお集まりいただき、講習会方式の集団指導を行った所です。主な内容としては、市役所が各施設を实地指導で立ち入り調査をしていて、今年1年間このような指摘があったという報告。小山警察の防犯生活安全課に来ていただき、相模原の事件があったので、防犯対策としてさすまたの実演していただき、不審者に対して警察が駆け付けるまでの間どうやって時間を稼ぐか、決して無理はしない。さすまたがなければ椅子でもなんでも押さえつければいい。自分が距離を置いて怪我をしないようにというような話がありました。また、110番に実際に電話して、模擬通報も行いました。110番にかけると県警本部に電話がかかり、そこから県内のパトカーに一斉に伝わるような仕組みになっているので、小山警察に電話するよりは、110番に掛けたほうが早いという事でした。その他にも、県庁の方に来ていただき、虐待防止の講習会や市の防犯対策課が水害対策についての説明をしてくださったり、小山市消防本部の方にも防災についての説明がありました。過去のプホームでの火災については、ハード面にも問題はあったんですが、ソフト面にもあって、地域とのつながりが欠けていた為にいざという時に協力が得られなかったようでした。という事なので、こういう運営推進会議でやっていることが有効なんだという点では、会議の目的の1つである有事の際には地域の方に助けてもらえるのではないかと思います。

先日、グリーンホームの实地指導を行いました。色々調査させていただきましたが、優秀な施設で特に問題は見られませんでした。安心してご利用していただきたいと思います。

4月1日から、高齢生きがい課の名称が変わります。団塊の世代が75歳になる2025年までに地域での支えあいの仕組みづくりをしましょうというのが地域包括ケアなんです、そういうものを目指そうという事もあり、「地域包括ケア推進課」となります。電話番号、場所は一緒です。

○上出井さわやか会（桑絹老人会）

岸本) ケアセンターからおやつ作り等色々お誘いいただき、予定表もいただいているから募集するのに大変助かります。自前の活動もやっているの、そういうものにぶつかってしまったり、要望になかなか応えられない場合はあって申し訳ないです。1回に4人くらいでいう事でいいですか。

佐藤) そうですね。大丈夫です。お手伝いというよりは、一緒に楽しんでいただければと思います。

岸本) 参加して下さった方で、良かったって言って下さった人もいました。

佐藤) 人によっては地域の方にお知り合いがいたり、そういった繋がりもいいと思います。

岸本) 老人会も次から次へといろんな行事があつて、なかなか忙しいですね。こういう状況だと、役員のやり手がいなくなってしまうのではないかと考えてます。

菅原) 行事だけではなく、やりたいことをやるというのも必要ですね。なかなかすぐには変えられないと思いますけど。

○高齢者サポートセンター桑絹

春田) 介護予防教室の参加者募集についてですけど、介護にならない為に日頃からの体力作り、健康作りの意味合いで、高齢者サポートセンター小山総合が取りまとめになっていて、サッカークラブ栃木SCのトレーナーをお招きして、3月30日に介護予防教室を行う予定です。

また、認知症を知る講演会が明日行われます。今後、認知症高齢者が増えていくという事で、当

事者の視点だったり、その方を支えている介護者の視点、色々な視点でのお話しがうかがえると思いますので、ぜひご参加してみてください。

高齢者の自転車運転のマナーについて、事故の予防啓発のお知らせを広めていただければと思います。私の方で相談を受けているケースで、旦那さんと奥さんの2人暮らしで、旦那さんは運転免許をお持ちだったんですが、うっかり失効してしまいました。免許が切れてしまっていたが、本人はそれでも運転できると思って、無免許のまま自動車教習所に行ってしまう、何とかしてくれと言ったようです。教習所としては、うちはうけていないから他でうけてくれと言われ、他に行ったらそこでも対応していないと言われ、警察に行ってくれと言われ、無免許のまま警察に行っていました。そこで捕まってしまう。それなので、後日簡易裁判を受けたという事例がありました。その方は認知症で、いまだに免許が切れている理解が難しく、車の運転もしている状況がある。いろんな問題が絡んでいるんですが、もらい事故も考えられるので、自動車運転、自転車運転気を付けていただけたらと思います。

岸本) 老人会としては、新しい人が入ってこなくて困っています。60歳から入会入れるんですけども、なかなか増えないのが現状です。活動資金の配分に関してはちょっとおかしいんじゃないかなと思っている部分があって、うちは現在60名なんですけど、1つの会に対して36,000円プラス1人700円(前年度は500円)という内訳で、そうすると10名の会も同様の活動資金になっているのが現状なんですよね。1人あたりの内訳の差があって、老人会の活動をきちんとやりなさいと言われても、ちょっとおかしいのではと思っている。それなので検討してほしいと話をするが、県での方で決まっているという回答だった。

菅原) 要するに、規模に関わらず基本料金が同じというのはおかしいのではないかとということですよね。

岸本) 例えば、20名までは基本料金で、20名から40名はプラスいくらとか、そういった段階をつけるような事も考えてもらえればと思うんですが、今の状態だと差が大きすぎる。そんな中、人数が多いから召集人数を上げなさいと言われる。運動会でも17名は集めて欲しいと言われ、交通費は2000円しか出ない。2、3人の所も同じく2000円では納得がいけない状況があります。

佐藤) もっと皆さんが老人会に入ることによってメリットを感じられるような内容ではないと、入ろうと思ったり、紹介したりに繋げるのはなかなか難しいですよ。

菅原) 若手が入らないとか内容も含めて色々考えていかないと、運営も難しくなってきますよね。確かに、役員さんが全員85歳になったらいよいよつぶれてしまいますよね。そうならないように、ある程度若い方を育てていかないと継続が難しくなってしまいますよね。

岸本) 去年引き継いだ時に、うちの会の平均年齢を計算したんですが、78.3歳なんです。高齢者の方も3名ほど亡くなっている現状もあります。だから、その状況でボランティアをお願いしなすと言われても対応しきれないですよ。

井澤) 地域の事なんですけど、桑中学校の西側にいった所に踏み切りがあるんですが、東から西へ向かう際に、自転車で下校する生徒が踏切手前を右から左に横切っている事があるんですが、ちょっと危ないなと感じています。

春田) 自転車は基本車道で左側通行となっていますが、その踏切は鋭角になっていて、待機するのも難しい場所ではありますよね。何かの機会に、桑中学校の校長先生等にお話しをしてみます。

菅原) 生徒に関する内容であれば教育委員会に、その次に道路状況に問題があるのであればまた別に情報提供していく必要がありますね。生徒の安全の為なので、言って悪い話ではないと思います。

6) その他

- ・グリーンホーム事例検討について

古賀) 事例検討の貼付資料がありますので、時間の都合でご説明は省略させていただきますが、時間のある時にそちらをご確認していただければと思います。

- ・次年度運営推進会議日程及び議題案について

木下) 平成29年度の運営推進会議の予定案を立てさせていただきました。奇数月の月末月曜日に固定させていただくのはどうかという点と、会議の場所をそれぞれの利用者が過ごしている場所で行い、委員の方に現場を見ていただくことで、より事業内容が分かりやすいようになるのではないかといい事で計画しております。問題がなければこのような形で進めていきたいと思います。また、会議の1週間前には案内を発送いたしますので、出欠の検討をしていただければと思います。

事業所名	社会福祉法人 洗心会 サンフラワーケアセンター
------	----------------------------

記録作成日	平成29年4月3日
記録作成者	管理者 佐藤 誠